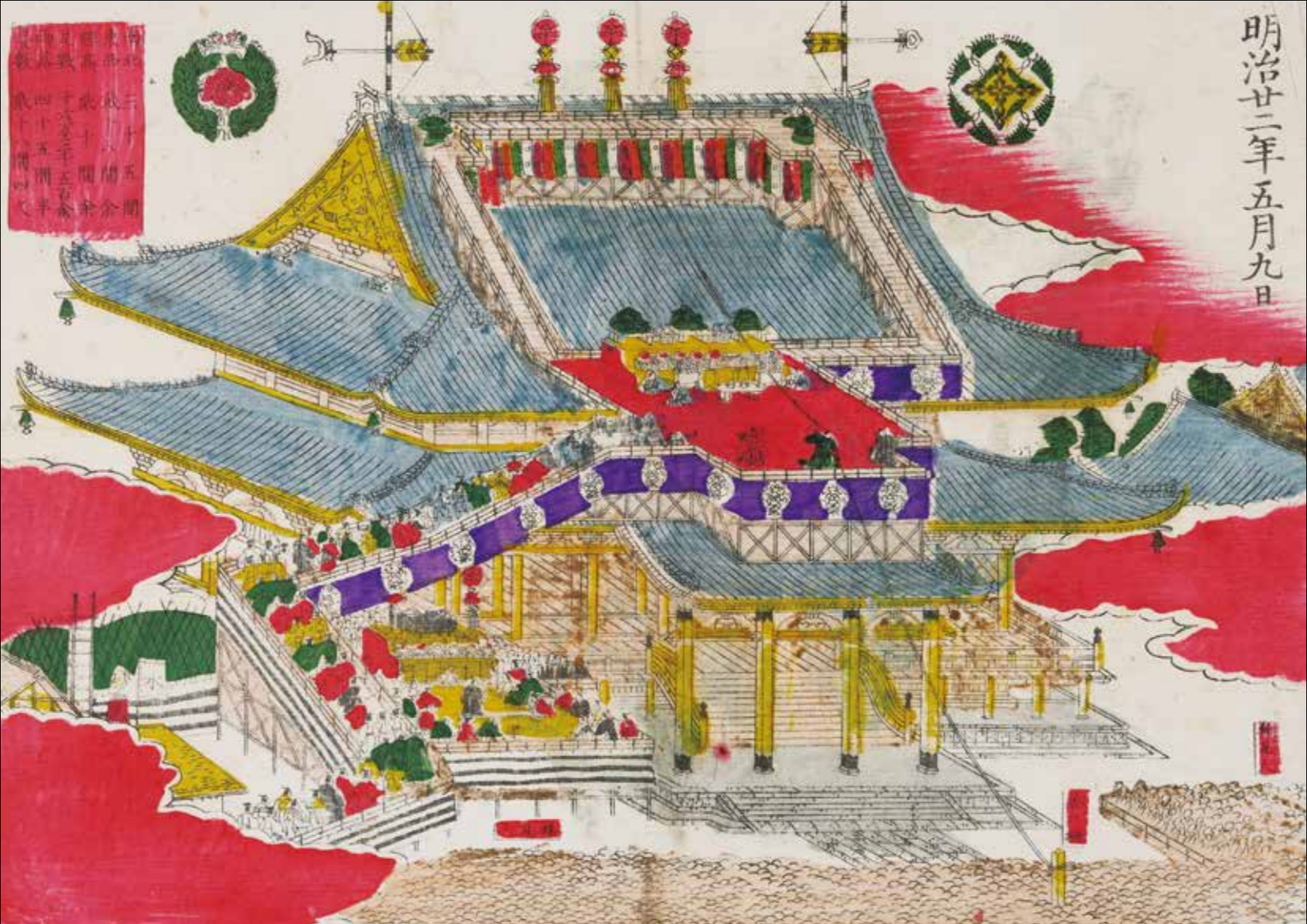


明治廿二年五月九日



大谷派本願寺大堂上棟式概図

二〇二二年度冬季企画展

じゆえん

衆縁の募

つゝり

斧斤の力

ふちん

つゝめ

—幕末・明治東本願寺再建の歴史—

2023

1.17^{tue}—2.18^{sat}

開館時間：10:00—17:00 (入館は16:30まで)

休館日：日・月曜 (ただし1/23⑧は開館)、

2/4⊕・2/7⊗・2/11⊕

観覧料：無料

大谷大学博物館

Otani University Museum

京

都駅前には壮大な伽藍を擁する東本願寺は、真宗大谷派の本山であり正式名称を「真宗本廟」といいます。広大な境内と荘厳な雰囲気をもつ東本願寺には、日々、全国各地の門信徒や、観光客が参拝に訪れます。

わが国最大規模の伝統木造建築とされる御影堂をはじめとする諸建築は、重要文化財に指定されており、その規模と格式の高さが評価されています。

東本願寺は、一六〇二年の創立以来、江戸時代を通じて四度の火災に見舞われ、そのつと全国門信徒たちの信心の力によって再建という大業が成し遂げられました。

現在の建物は、元治元年（一八六四）の禁門の変（蛤御門の変）の戦火による焼失のち、五十年近い歳月をかけて再建されたものです。

本展覧会では、大谷大学博物館が所蔵する再建関係史料を中心に、幕末・明治の再建のあゆみをたどります。大業を支えた門信徒たちの信仰の篤さと、近代日本における匠たちの技術の一端に触れていただければ幸いです。



元治元年京大火瓦版



御影堂石築之図（部分）



上ノ式場飾り扇車玉串懸鏡等之図

ご来館にあたってのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下についてご理解とご協力をお願いします。

【ご来館の前に】

- HPに掲載している「入構セルフシート」を事前に印刷・ご記入のうえお持ちください。ご用意が難しい場合は北門門衛所にもございますので、北門門衛所にてお声かけください。
- 以下の方のご入館はお断りします。体調観察等にご協力ください。
 - ・本人または同居する人が息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、発熱や咳、味覚・嗅覚の異常等の強い症状の少なくとも1つ以上入館予定当日の朝からさかのぼって14日の間にある場合
 - ・本人または同居する人が過去14日以内に新型コロナウイルス感染症罹患者と接触のある場合
 - ・本人または同居する人が過去14日以内に渡航歴がある場合

【ご来館の際は】

- 北大路通に面する北門の守衛所に「入構セルフシート」をご提出ください。構内巡回等で守衛所が無人の場合は博物館受付にご提出ください。
- 入構時に検温をお願いします。37.5度以上の発熱が確認された場合は、入構をお断りします。
- 図書館や学内食堂等、博物館以外の学内施設の利用はできません。
- マスクを着用してください。着用いただけない方は入構できません。
- 手指消毒にご協力ください。
- 他の来館者との距離を保ち、会話はお控えください。
- 展示物・展示ケース等にお手を触れないようにお願いします。
- 展示室内が混雑する場合は、入館までお待ちいただくことがあります。予めご了承ください。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、臨時休館となる場合もございます。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。

個人情報の取り扱いについて

ご提出いただいた個人情報は、大谷大学博物館への入館手続きおよび新型コロナウイルス感染拡大防止のために利用します。当館利用者に感染が確認された場合等、必要に応じて保健所等の公的機関に情報を提供することがあります。なお、連絡先等については厳重に管理し、適切な方法により廃棄いたします。

次回展覧会（予定）2023年度春季企画展
大谷大学のあゆみ 大学の前身・学寮の時代
2023年4月1日①～5月13日④



大谷大学博物館

Otani University Museum

〒603-8143 京都市北区小山上総町 響流館1F
Tel.075-411-8483 Fax.075-411-8146
https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/



- 地下鉄丸の内線「北大路」下車、6番出口すぐ
- 市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路」下車
- 駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。ただし、身障り用車の場合は事前にご連絡ください。